環境に係る情報協議会
国営総合農地防災事業　勇知地区

1. 事業の概要（案）

◆事業の目的

本地区は、泥炭土に起因する地盤沈下の進行により、農業用排水路及び農地の機能低下により、過湿被害等が発生している。また降雨時にはたん水被害が発生するなど、農業経営に大きな支障を及ぼしている。

このため、本事業において農業用排水路の改修並びに、農地に暗渠排水及び整地等を行い、それらの機能を回復することにより、農業経営の案定化を図り、併せて、国土の保全に資することを目的とするものである。

◆受益面積　1,030ha

◆主要工事計画
- 農地防災工（排水路）
- 農地保全工（暗渠排水、整地）　575ha

2. 稚内市の環境に対する考え方

（「稚内市田園環境整備マスタープラン」より）

◆農村環境の現状と課題

【　現　状　】

稚内市は、美しい北方景観が自慢の「利尻礼文サロベツ国立公園」や「北オホーツク道立自然公園」など雄大な自然景観と観光資源に恵まれた地域である。

【　課　題　】

三方の海と丘陵地に囲まれ、様々な動植物が生息する豊かな自然環境に恵まれた地域である。今後、自然環境について良好な状態で将来の世代に引き継ぐ必要がある。

3. 環境配慮のための環境調査

◆環境保全の基本的考え方
- 本地区の排水は、第１号排水路を経て日本海へと連続した水辺環境ネットワークを形成していることから、自然との共生のため動植物の生息・生育環境に配慮する。
- 工事の際には、濁水の流出防止対策等の水質保全対策により、利尻礼文サロベツ国立公園に影響を与えないよう配慮する。

◆基本方針
- 地区の自然生態系や動植物の生息、生育状況を把握するため、既往調査結果を活用しながら現地調査を実施する。
- 工事実施中の水質への影響を把握するため、工事実施前のデータ収集として、水質調査を実施する。

◆環境調査内容

○調査項目　①鳥類　②魚類　③両生・は虫類　④昆虫類　⑤底生動物　⑥植物　⑦水質

○調査方法

鳥類	ラインセンサス法
魚類	採捕調査
両性・は虫類	目撃法
昆虫類	任意採集法、ライトトラップ法 ベイトトラップ法
底生動物	定性採集法
植物	植物相調査、群落組成調査
水質	ＳＳ、濁度